



□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : [information@hokoren.com](mailto:information@hokoren.com)

□ 編集責任者 七井 真人

## ■ 新春賀詞交歓会 盛大に開催

賀詞交歓会を1月18日、ホテル東日本宇都宮において開催しました。会員企業33社から63名のご参加をいただき盛大な賀詞交歓となりました。

来賓として、芳賀町から町長代理の上野哲男副町長、手塚孝幸商工観光課長、芳賀町議会から石川保議長、小林信二産業建設常任委員会委員長、芳賀町商工会から佐藤政二会長のご臨席をいただきました。

司会進行は、総務企画部会の中山克夫部会長が務めました。

渡邊猛副会長は「製造業はシンプルなモノづくりから、いろいろな価値観を取り入れたコトづくりへの転換と、ビジネス環境が変わる時代の潮流にある。GEのジャック・ウエルチは「変化を楽しむ」との名言を残した。今の時代を前向きに捉えるならば、まさにそのような時代であると思います。今年は芳工連が30周年を迎えるので皆さまとともに、さらに盛り上げながら良い時代にしてきたい。多くの皆さまの参加に感謝を申し上げます」と開会の挨拶を述べました。



渡邊猛副会長の開会あいさつ

## ■ 細岡会長が主催者あいさつ

主催者を代表して細岡大会長は次のように挨拶しました。

昨年を振り返ると、日本列島の各地で豪雨や地震など自然災害が発生し、災害の脅威を改めて思い知らされました。

日本経済は、自然災害にともなう物流の混乱などで経済活動にマイナスに働きましたが、天候要因による下振れはいずれも一時的なものに終わり、景気の腰折れにまでは至らずに済みました。

海外に目を転じますと、米国株（NYダウ）は年末に21,792ドルまで下落し、これに反応した



細岡大会長のあいさつ

日本株（日経平均）も12月25日に19,155円まで下げました。

米国景気の後退懸念、米中貿易対立の先鋭化、英国の合意なしEU離脱懸念の高まりなどのリスク要因を注視しなければなりません。内需のけん引力の強まりを背景に緩やかな回復基調のまま、徐々に経済が上向くことを期待したいと思えます。

昨年の方工連の活動を見てみますと、事業主体である4つの部会が、目指す目標に沿って着実かつ効果的に事業を執行した結果、多くの会員企業と参加された皆さまから共感をいただくなど、安全・安心の工業団地づくりに寄与することができました。

主要地方道宇都宮・向田線大塚工区は、朝夕の通勤時間帯を中心に深刻な交通渋滞が発生し、地域経済活動にとって大きな妨げとなっていたことから、安全で円滑な通行が可能となる道路の早期完成が望まれていましたが、13年に亘る整備に完了の目途がたち、来る3月10日に開通式が挙行される運びとなりました。

これまで、整備促進にご尽力をいただいた芳賀町長はじめ栃木県関係部局の皆様、そしてご支援とご協力をいただいた会員企業の皆様に感謝したいと思います。

方工連は今年、創立30周年を迎えます。『ありがとうの30年 地域と共に 活力ある明日へ』の事業コンセプトで準備を本格化してまいります。30年の歴史は企業と地域との絆があって歩むことができた歴史です。

これからも地域と企業が安定した成長を持続できるよう、皆さまのご支援をいただきながら、活力ある明日へ向かって歩む決意をコンセプトに込めています。

会員企業の皆様、そして芳賀町並びに関係団体の皆様には、これまで同様、ご理解とご支援をお願いいたします。

結びに、会員企業様並びに御参会の皆さまのご繁栄とご多幸を祈念申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

## ■ 来賓あいさつ

町長代理で出席された上野哲男副町長は「第6次芳賀町振興計画」に基づきまちづくりを進めている。宇都宮市と共同で進めるLRT事業は昨年5月起工式、7月車両デザインを決定、本年は軌道確保するため道路拡幅工事などを実施し、引き続き2022年3月の開業に向けて取り組む。定住人口の増加を図るため造成を進めてきた『祖陽が丘』は本年2月から一般分譲を開始する。芳賀工業団地第2地区は23ヘクタールの造成工事を本年秋から着手、利便性の高い工業団地となります。

渋滞緩和に向けて整備を進めてきた主要地方道宇都宮・向田線大塚工区も3月10日に竣工する。町道三日市・宮田線も本年着工して3カ年で完成させます。LRT事業施工中はご迷惑をおかけしますが、皆さまのご理解とご協力をお願いします」と挨拶しました。



上野哲男副町長のあいさつ

石川保議会議長は「昨年末 TPP が発行され加盟国間の貿易が自由化となりました。また、EPA についても EU と合意され各国との貿易の枠組みが広がり、自動車関連はもとより農産物の輸出も大きな伸びが期待されています。

芳賀町の基本財源の 7 割近くを工業団地に依存している実態があります。地方経済を盛り上げるためにも今後とも芳工連の皆さまには多大

なるご協力をお願いします。

今年は、新天皇の御即位により平成最後の年となります。新たな元号の公布により日本国民に希望と活力が湧きあがり、日本経済の発展にも期待が寄せられています。

会員企業の皆さまに元気になっていただき、より良い年となるよう期待しています。皆様のご理解と御協力をお願いします」などと挨拶しました。

## ■ 祝宴

芳賀町商工会の佐藤政二会長さんによる乾杯発声で祝宴が始まりました。

宴席では、初参加の皆さまも多く、名刺交換やご挨拶で会場は賑やかとなり、暫し歓談の時間を過ごしました。

東京など遠路から、本社役員さんなども多数駆けつけていただき、工業団地に立地する会員企業相互の親睦と交流が深められました。

新規会員として加入されたエヌエヌ商事株式会社様が紹介され、執行役員の黒崎伸孔様がお挨拶をしました。

また、毎年会員企業様からスピーチをいただきましたが、これまでご挨拶の機会がなかった東上ガス株式会社栃木支店様が紹介され、課長の小林博之様がお挨拶されました。

和やかなうちに歓談することができ、有意義な賀詞交歓会となりました。監事である関電工の多部田学営業部長が中締めを担当し、爆笑を誘うユニークな話題を織り交ぜた三本締めでお開きとなりました。



石川保議会議長あいさつ



佐藤政二商工会長の乾杯発声



多部田学監事の閉会あいさつ



## ■ 創立 30 周年実行委員会 本格始動

創立 30 周年記念事業実行委員会は、平成 30 年 6 月 25 日開催の第 1 回役員会で執行体制が決定されました。その後、コンセプト原案をとりまとめるなど記念事業の方向性と事業の骨格を議論してきました。これまで開催した 4 回の実行委員会で具体的な活動計画を決定してきました。

「ありがとうの 30 年 地域と共に 活力ある明日へ」のコンセプトが 10 月 23 日開催の第 2 回役員会で承認されました。詳細は実行委員会に設置された記念事業部と記念誌発行部の二つの専門部において、企画を練り上げてきました。

なお、記念式典及び祝賀会などの開催時期は 10 月とすることで調整中です。これまで、記念事業部は 11 回、記念誌発行部は 4 回の会議で詳細な準備を進めてきました。二つの専門部が進める活動計画の概要は次のようなものです。

記念事業部は、30 周年記念事業を地域にも広く周知し、感謝の気持ちを伝える活動の一環として、4 月 6 日（土）開催の「さくら祭り」及び 8 月の「ロマン花火」でブース出展を企画しています。

また、3 月中に「花の種子」を芳賀町内小中学生に配布した上で、工業団地に立地する企業への理解を深めていただけるよう「さくら祭り」で景品くじ引きをしてもらう計画です。

さらに、「創立 30 周年のぼり旗」を 2 月から会員企業様に掲出いただき、従業員はもとより多くの皆さまに周知を図ることとしました。

すでに、1 月から芳工連が送付する封筒には「ありがとうの 30 年・・・」のコンセプトが印字されています。

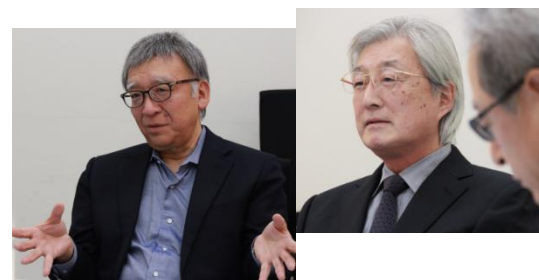
4 月からは、バス輸送会社のご協力を得て、バスのフロント面に「ありがとうの 30 年・・・」のコンセプトをデザインしたエプロンを貼付いただき、工業団地内や宇都宮市内を走行いただく予定です。

このように、周知活動を展開することで 30 周年記念事業に対するご理解をより一層深められるよう努めていきます。

記念誌発行部は、記念誌発行業務委託契約を協永堂印刷(株) 栃木事業所様と締結しました。また、企業紹介記事のフォーマットを決定し企業様へご案内しました。

ここ 10 年で芳工連が経験したリーマン危機、東日本大震災、LRT 事業などをテーマとした「歴代会長による対談」と関係数社を対象とした「震災復旧・復興と BCP」に関するインタビューを企画しました。

歴代会長対談は、澤田知之様と河合浩二様にはリーマン危機と東日本大震災、小川審也様と河合泰様には LRT 事業に関するテーマで 1 月中に実施しました。



## ■ 排水処理センター使用料金の検討会開催

工業団地排水処理センター使用料金検討会が1月22日開催されました。

立地企業6社の代表者と芳賀町から副町長ほか5名の関係職員が出席しました。

前回、平成28年12月の検討会で使用料金の変更について協議した経緯があります。料金の変更は平成26年に消費税が5%から8%に変更された際、税込み単価を67.0円から68.9円に変更しました。

今回の検討会は、本年10月に予定されている消費税率の変更にともない、増税分の使用料を増額することについて協議しました。

協議の結果、使用料金単価は据え置きますが、8%から10%への消費税率変更にともない消費税込みの使用料単価を70.1円に変更することを承認しました。

この料金変更は、芳賀町の3月定例議会で関係条例の改正案が上程され、可決されれば10月分から変更となる予定です。

排水処理センターについては、特別会計による運営をしていますが、施設老朽化による維持管理費の増大、排水量減少による収入減、排水処理センター運営のための基金残高減少、今後見込まれる施設補修費の増加などから、使用料単価の増額が検討されてきました。利用料金の変更については、今後も継続して協議されることとなります。



## ■ 芳賀町賀詞交歓会 役員が出席

芳賀町賀詞交歓会が1月9日、芳賀温泉ロマンの湯において開催され、町議会議員、自治会代表ほか各種団体代表者など約120名が新春を祝いました。

芳工連から細岡会長、富永副会長、渡邊副会長など役員5名と事務局長七井が出席。

見目匡町長が「LRT事業は昨年5月に起工式を、7月に車両デザインが決定。本年は用地買収を進め道路拡張工事に着手する。また、県の協力を得て約23ヘクタールの芳賀工業団地拡張工事を着手する。芳賀工業団地に立地する最先端企業を町内小学生に学んでもらい、将来は地元で働こうとする意識を育てたい。見学や勉強の機会をつくるため企業の皆さまに協力をいただきたい」などと挨拶しました。

来賓のあいさつに続き、乾杯発声の指名を受けた芳工連細岡大会長が「主要地方道宇都宮・向田線大塚工区が3月10日に開通式が挙行されることは工業団地立地企業にとって明るい話題である。これも偏に、芳賀町当局はじめ関係各位の多大なるご尽力によるものと感謝している。芳工連は今年創立30周年を迎えます。『ありがとうの30年 地域と共に活力ある明日へ』の事業コンセプトで準備を本格化してまいります。30年の歴史は、企業と地域との絆があって歩むことがで



乾杯発声をする細岡会長

きた歴史です。これからも地域と企業が安定した成長を持続できるよう、皆さまのご支援をいただきながら、活力ある明日へ向かって歩む決意をコンセプトに込めました。ご理解とご支援をお願いします」などと挨拶しました。

出席された役員さんから「各種団体の代表者と楽しく歓談するなかで、有意義な情報交換ができ参加して良かった」との感想を頂きました。

## ■ 立地企業景気動向調査を実施

12月17日、工業団地に立地する企業101社を対象に景況調査を実施しました。これは2月7日（木）開催する栃木県知事との意見交換会で、当工業団地立地企業の業況や県に対する要望を細岡会長がご説明する際の参考とします。

調査には52社（回答率51.5%）から回答をいただきました。

集計結果は以下の通りです。

### 質問1 今期状況と来期の見通し

(1) 今期(平成30年10~12月)は

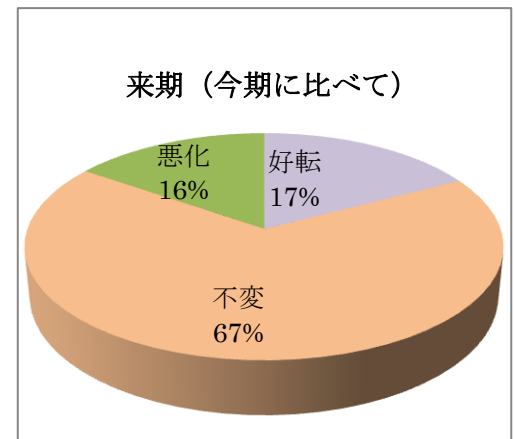
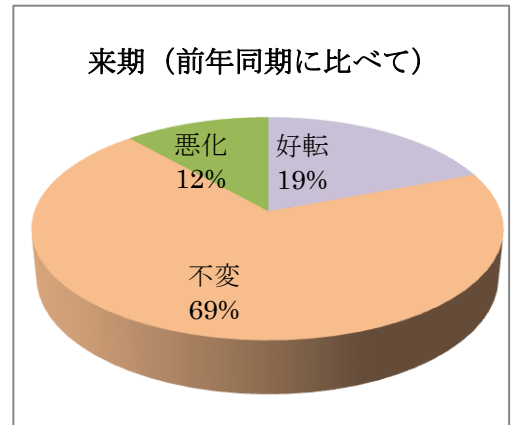
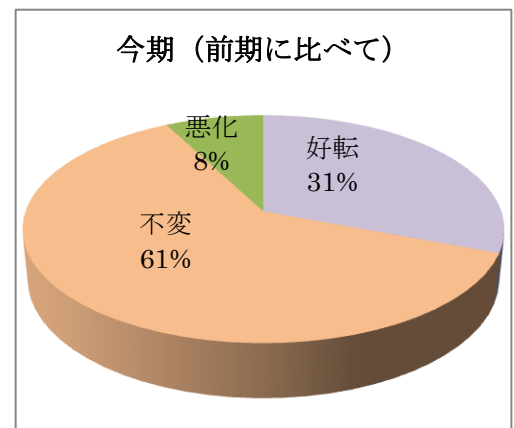
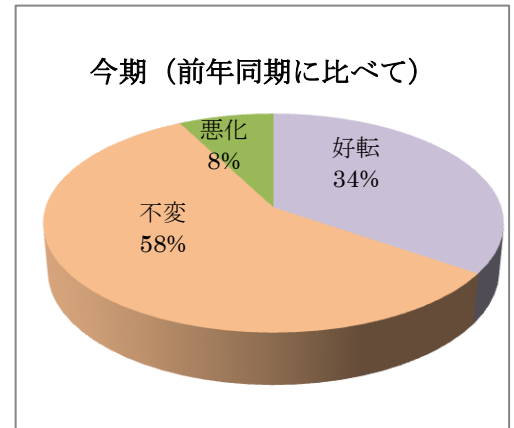
- ① 前年同期と比較して「不変」は58%（30社）で前年度比6.9ポイント増、「好転」は34%（18社）で前年度比0.7ポイント増、「悪化」は8%（4社）で前年度比7.6ポイント減でした。
- ② 今年前期（7~9月）との比較でも「不変」は61%（32社）で前年度比0.5ポイント増、「好転」は31%（16社）で前年度比5.4ポイント増、「悪化」は8%（4社）で前年度比5.9ポイント減でした。

(2) 来期（平成31年1~3月）の見通しは

- ① 前年同期と比較して「不変」は69%（36社）で前年度比11.6ポイント増、「好転」は19%（10社）で前年度比9.6ポイント減、「悪化」は12%（6社）で前年度比2.1ポイント減でした。
- ② 今期（10~12月）との比較では「不変」は67%（35社）で前年度比4.6ポイント増、「好転」は17%（9社）で前年度比6.4ポイント減、「悪化」は16%（8社）で前年度比1.8ポイント増でした。

このように、今期も前年同期と同様に、多くの企業は概ね好調な経済環境が継続しているとの見方であることが分かりました。

また、来期は「好転」の見方が減少し、「不変」や「悪化」と見る企業の割合が高くなっており、先行きについて慎重な見方をしている状況が窺えます。



## 質問2 設備投資内容は

(1) 今期の設備投資状況は、「実施した」が61.5% (32社) でした。内容は複数回答で  
 ①付帯設備24.1%、②車両・運搬具19.0%、③その他15.5%が上位でした。  
 「実施なし」は38.5% (20社) でした。

① 実施した32社 ※ %は複数回答58の割合 (前年度比ポイント)

1	土地	4	6.9 %	(+3.1)
2	建物	5	8.6 %	
3	建設機械	5	8.6 %	(+2.8)
4	車両・運搬具	11	19.0 %	
5	付帯設備	14	24.1 %	
6	OA機器	6	10.3 %	
7	福利厚生施設	4	6.9 %	
8	その他	9	15.5 %	(+5.9)

② 実施していない。

実施なし	20	38.5 %
------	----	--------

(2) 来期の設備投資計画は、「計画あり」が57.7% (30社) でした。内容は複数回答で  
 ①付帯設備25.9%、②車両・運搬具22.2%、③その他16.7%が上位でした。  
 「計画なし」は42.3% (22社) でした。

① 計画している30社 ※ %は複数回答54の割合 (前年度比ポイント)

1	土地	0	0.0 %	
2	建物	5	9.3 %	(+2.4)
3	建設機械	3	5.6 %	(+3.9)
4	車両・運搬具	12	22.2 %	
5	付帯設備	14	25.9 %	
6	OA機器	6	11.1 %	
7	福利厚生施設	5	9.3 %	(+4.1)
8	その他	9	16.7 %	(+4.6)

② 計画していない。

計画なし	22	42.3 %
------	----	--------

今期の設備投資で注目したのは、前年度同期の調査で「土地」が前々年度と比較して3.8ポイント増でしたが、今年度の調査でも「土地」への投資が6.9% (4社) あり、前年度比3.1ポイント増になっていることです。また、「建設機械」は8.6% (5社) で前年度比2.8ポイント増、「その他」は15.5% (9社) で前年度比5.9ポイント増となっています。

このように、上向き景気に敏感に反応し「土地」や「建設機械」などの本格的な設備投資を積極的に行っている実態が把握できました。

また、「実施していない」と回答した企業は38.5% (20社) で、前年度の54.2% (32社) と比較して15.7%ポイント減少していたことから、設備投資に転じた企業が多いことが明確になっています。

来期 (平成31年1月～3月) の設備投資計画は、設備投資の計画がある企業は57.7% (30社) で、前年度の52.5%と比較して5.2ポイント増となっています。

平成30年10月～12月期と同様に平成31年1月～3月期の設備投資も、これまで以上に活発であることが分かります。

設備投資を「計画していない」企業は42.3% (22社) で、前年度の47.5% (28社) と比較しても5.2ポイント減となっていることから、平成30年10月～12月期と同様、平成31年1月～3月期も積極的な設備投資の計画が見えてきました。

質問3 今期直面している経営上の問題点は

「従業員の確保が難しい」、「熟練技術者の確保難」、「人件費の増加」が上位に選ばれた項目でした。人手不足は年々深刻さを増している現実が明確になっています。

質問4 栃木県に対する要望については、次のような記述がありました。

- ① LRT 工事に伴う交通渋滞対策として有効な情報の発信
- ② LRT の利便性向上を図る公共交通機関の活用促進
- ③ 自家用車から鉄道、バス利用への転換を促す対策実施
- ④ 工業団地周辺道路の交通渋滞解消の早期実現
- ⑤ 工業団地までの公共交通による利便性向上の推進
- ⑥ テクノ街道の完全4車線化の計画推進
- ⑦ 人の確保が年々難しくなっている状況から人材確保支援の強化
- ⑧ 人口減少に対する効果的な施策
- ⑨ 外国人労働者との交流の場の設定
- ⑩ 自動車メーカ（特に関東より西）との接点がとれる部品展示会の開催を希望
- ⑪ 消費税増税は経済と地方に打撃を与えるので県として反対してほしい。

## ■ 新会員企業様の紹介

12月の役員会において、エヌエヌ商事株式会社代表取締役七井伸之様の新規加入が決定しましたのでご紹介いたします。

物流サービス事業で躍進するエヌエヌ商事様は、輸送機械の部品などを搬送・保管する拠点として約5,000平方メートルの物流倉庫（右写真）を昨年11月に新設し稼働しました。

所在地は、芳賀工業団地南東部に位置する『ひばりヶ丘公園運動場』西側です。

エヌエヌ商事株式会社様は、宇都宮市内の清原工業団地内に本社機能、平出工業団地に物流施設を構えるほか、千葉県佐原市内に物流施設を有し、芳賀工業団地に新設された物流倉庫と合わせると4拠点で物流サービスの充実・強化を推進しています。

芳工連では交通防犯部会に所属いただくことになりました。本業との関連からも交通安全の向上に関する活動で芳工連活動に貢献いただけるものと期待しています。

芳賀工業団地への進出によって、さらなる躍進が図られることを祈念しています。



### 芳工連日誌

#### 【1月の実績】

- 7日 仕事始め
- 9日 芳賀町賀詞交歓会
- 18日 芳工連賀詞交歓会
- 23日 資源ごみ回収
- 25日 団管連幹事会
- 30日 普通救命講習会

#### 【2月の予定】

- 7日 知事との意見交換会
- 13日 第40回ボウリング大会
- 26日 団管連事務担当者研修会
- 27日 資源ごみ回収